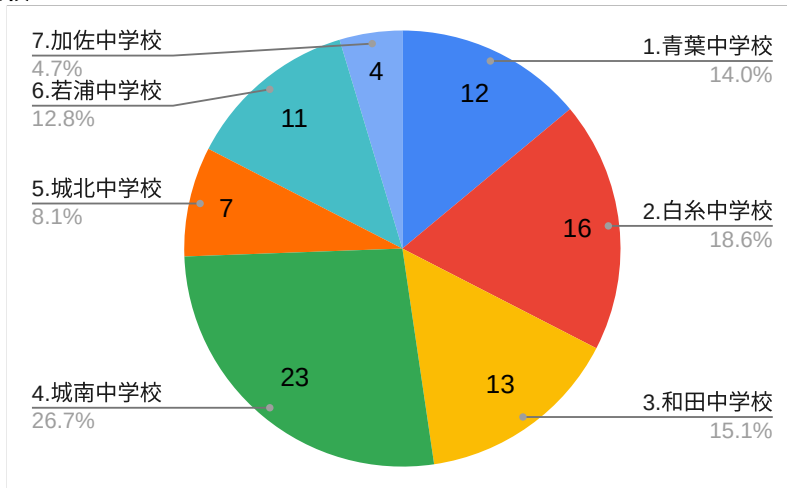


# 「まいかつ体験」アンケート結果【教員】

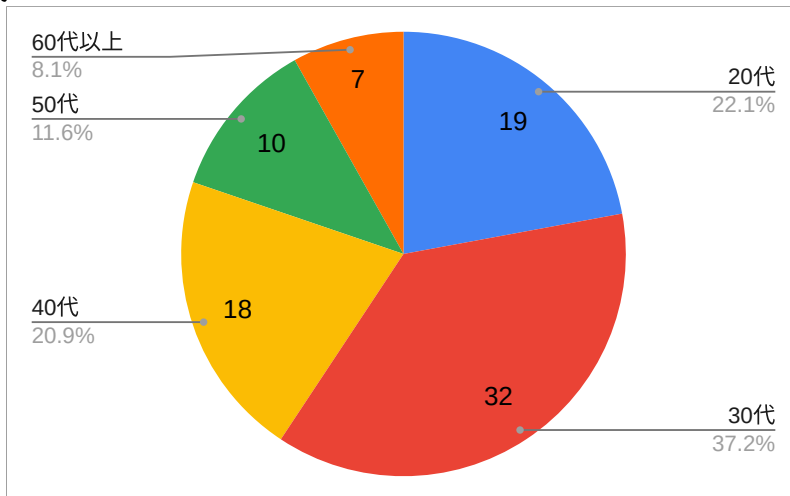
対象：中学校教員

回答数：87人

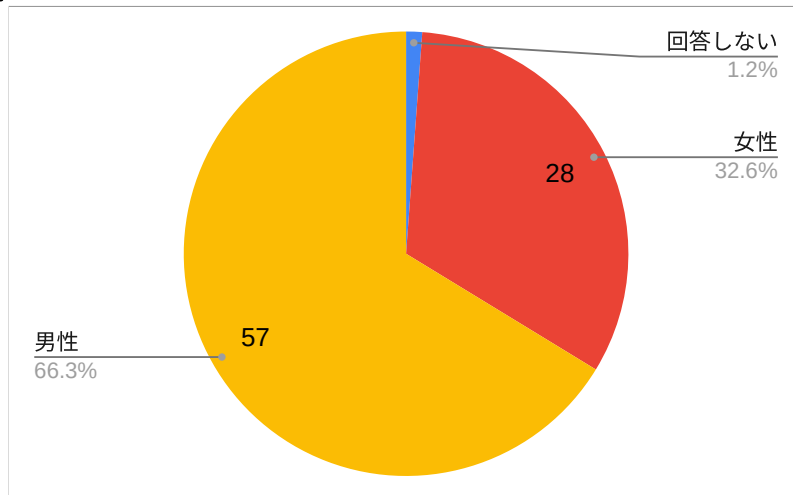
## 1.勤務校



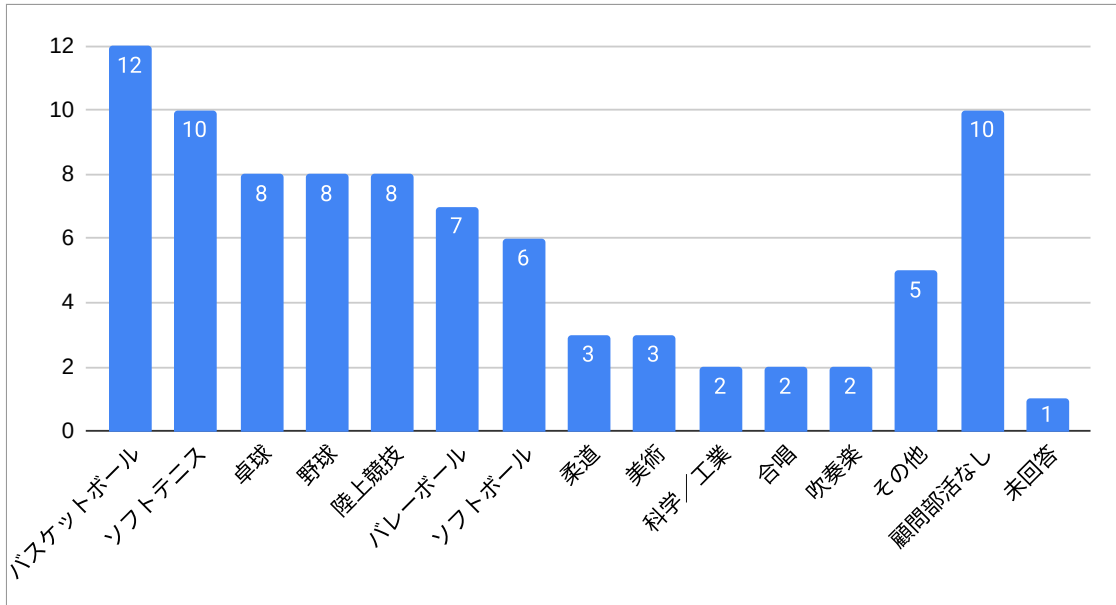
## 2.年代



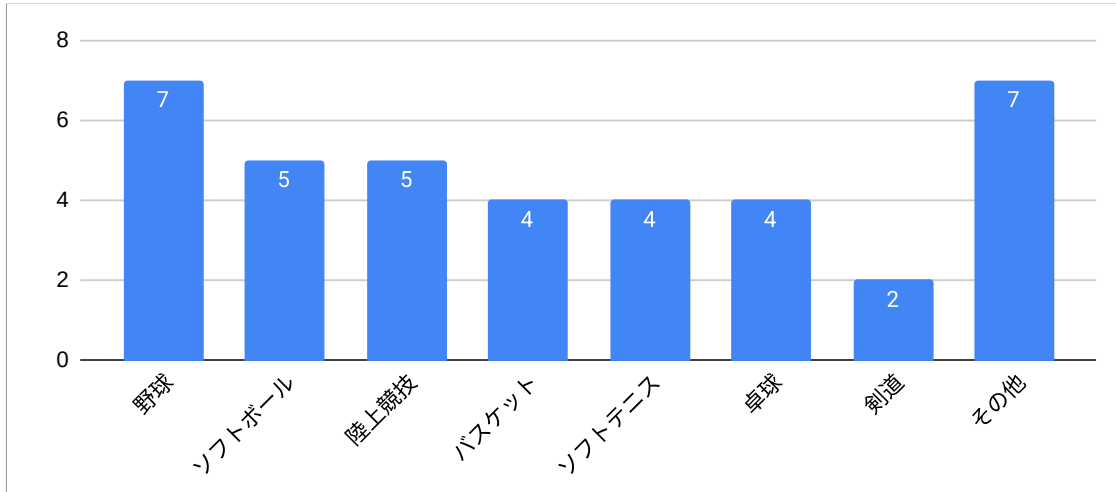
## 3.性別



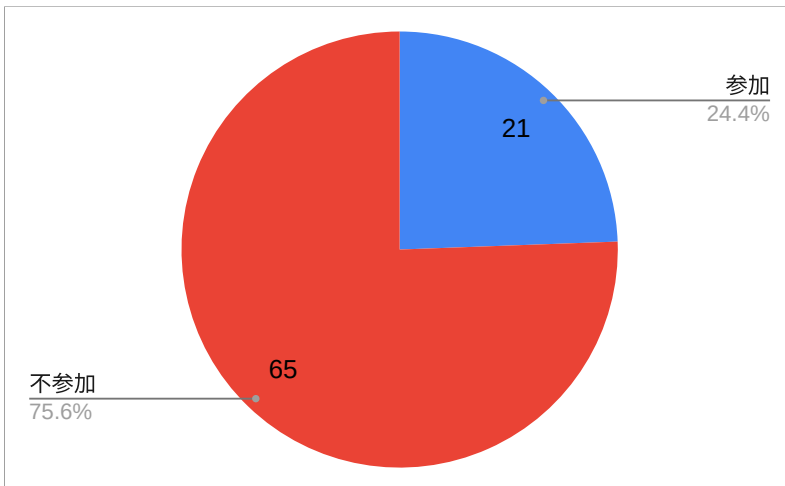
4.顧問をしている部活動 ※複数回答あり



5.得意な競技・種目

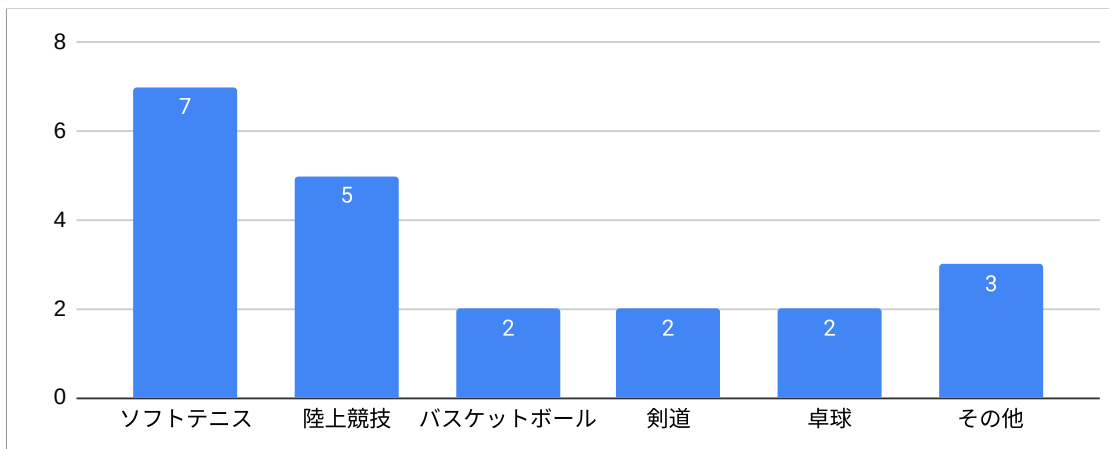


6.「まいかつ体験」に指導者としての参加の有無

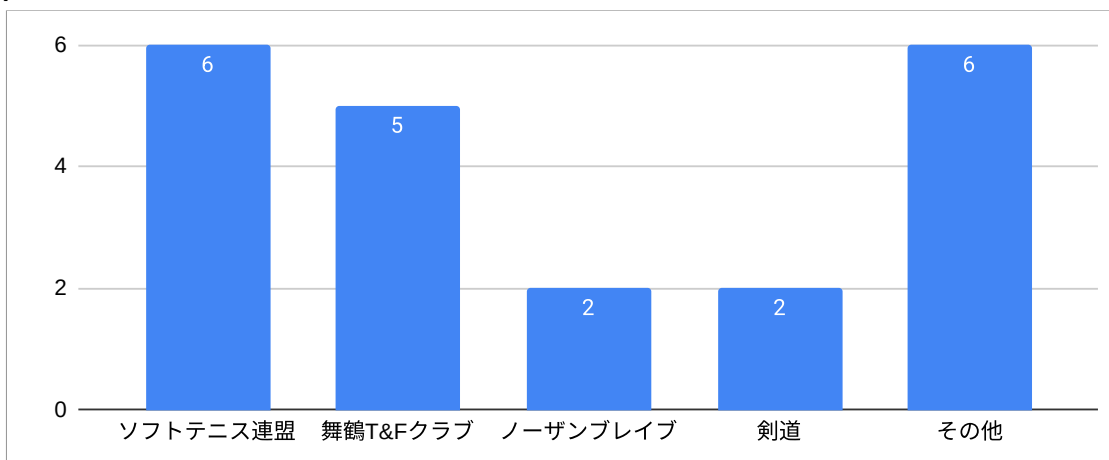


## 7.「まいかつ」体験に指導者として参加した方対象の質問

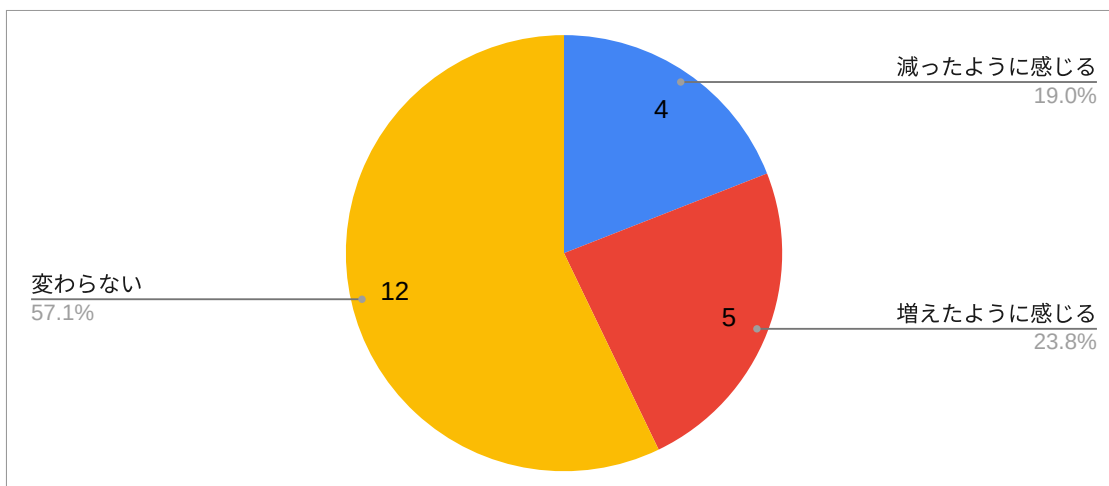
### 7.(1)参加した種目を教えてください



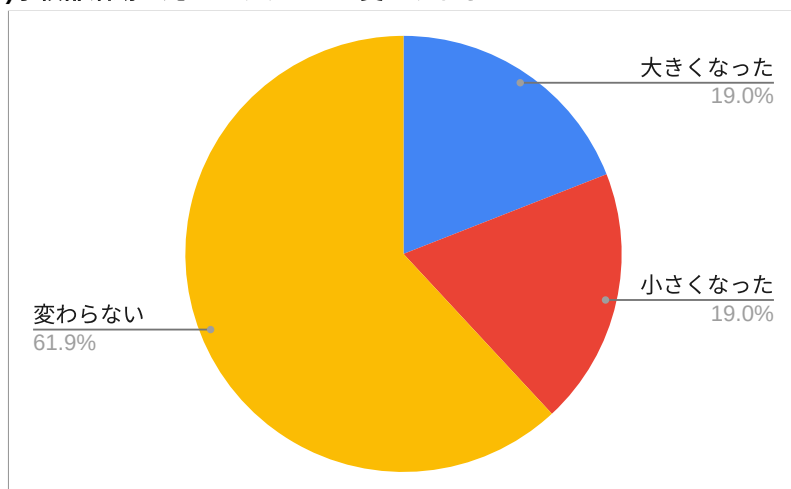
### 7.(2)参加した団体名を教えてください



### 7.(3)学校部活動と比べて負担感に違いはありましたか？



#### 7.(4)学校部活動と比べてやりがいは変わりましたか



#### 7.(5)「まいかつ」の指導者をやってみて良かったことを教えてください

##### (1)指導のやりがい・教育的価値

- ・多様な生徒への指導：いろいろな学校の生徒や、多くの小中学生を指導できることに面白さ・喜び
- ・専門性の発揮：自身の専門種目を指導できる
- ・生徒の意欲：希望制のためモチベーションの高い生徒が集まり、指導のしがいがある。

##### (2)指導スキルの向上・外部交流

- ・新たな指導法の習得：自分とは違う指導方法に触れたり、普段行わない練習メニューを知る良い機会
- ・校種を越えた連携：高校生と一緒に活動することで高校の練習メニューを学べた
- ・ネットワークの拡大：他校との関わりが増え、他の指導者との繋がりが格段に広まった

##### (3)負担の軽減・待遇面

- ・指導体制による負担軽減：複数の指導者で協力して見られる体制が助かった
- ・業務の純化：引率、保護者対応、生徒指導、施設管理といった「技術指導以外の業務」が格段に少なく、指導に専念できた
- ・処遇の改善：従来の部活動手当よりも待遇が良かった

#### 7.(6)「まいかつ」の指導者をやってみて良くなかったことを教えてください

##### (1)活動環境・場所に関する課題

- ・練習場所の分散：練習場所が複数あり、連絡や確認の負担が大きかった
- ・雨天時の対応：学校部活動のように校舎内での練習ができず、活動が制限された
- ・場所の不足：適切な活動場所がない中での活動そのものが厳しい

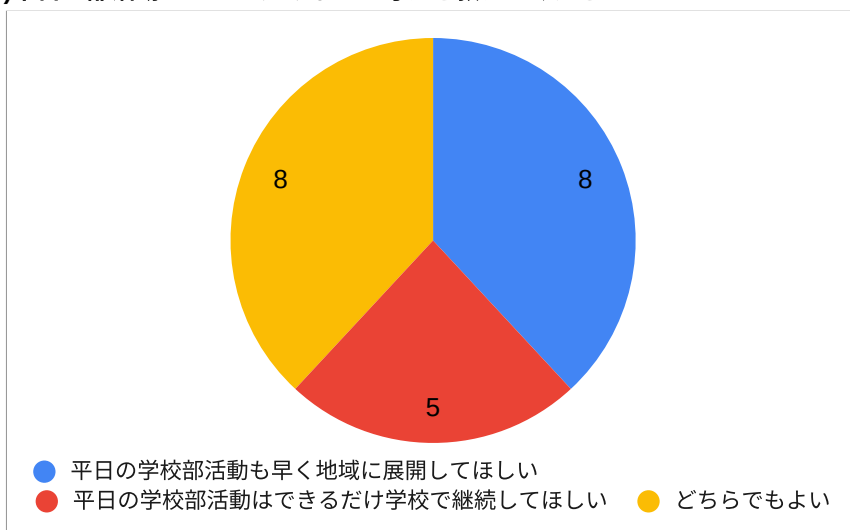
##### (2)指導者の負担増に関する課題

- ・時間の増加：指導時間そのものが部活動より長くなった
- ・連絡・計画の負担：保護者への連絡や、指導計画の作成にかかる事務的な負担が増えた
- ・プライベートへの影響：自分や家族のための時間が減った

##### (3)体制・制度上の課題

- ・バックアップ不在：一人体制のため休めず精神的・体力的にしんどい
- ・指導者の不安定さ：※指導者派遣型 安定した指導者を確保が難しい
- ・実態との乖離：教員が地域指導者を兼ねていた場合、従来の部活動と実態が変わらない
- ・報酬の制限：生徒数によって謝金が出る人数に制限があったため、複数指導者がある場合の不公平感が心配
- ・参加者数とニーズ：参加者が少なかったため、生徒のニーズに合っているか再検証がいる

### 7.(7)平日の部活動について、あなたの考えを教えてください



### 7.(8)「まいかつ」に対する要望や質問があれば記入してください

#### (1)体制・環境整備への要望

##### 早期の体制確立：

現場の混乱を避けるため、指導体制や受け皿となる競技連盟の協力体制の早期確立

環境整備：活動ができる場所や環境の整備

#### (2)教員の負担・関わり方について

##### 負担の偏りの解消：

現状、一部の教員に負担が集中している

地域指導者の参加促進や輪番制の導入など、特定の個人に負担がかかり続けにくい仕組み作り

##### 方針の明確化：

「教員は原則として指導に関わらない」という方針を明確にし、統一すべき

#### (3)費用・報酬・運営資金について

##### 報酬の確保と集金システム：

参加者が少ない場合の指導者報酬の担保

各クラブ単位ではなく一括で集金・支払いを行うなど、指導者に負担のない事務システムの構築

##### 持続可能性への懸念：

受益者負担になった際、どれだけの生徒が参加し、クラブとして存続していけるのか

#### (4)指導の質・子どもの利益について

##### 子ども中心の運営：

指導者の都合や考え方が優先されるのではなく、子どもの利益を最優先に考えた運営を求める

##### 競技力の維持と機会の確保：

平日のみの部活動で十分な指導ができるのか

スポーツをする機会が減ってしまうのではないか

子どもの成長への影響を懸念

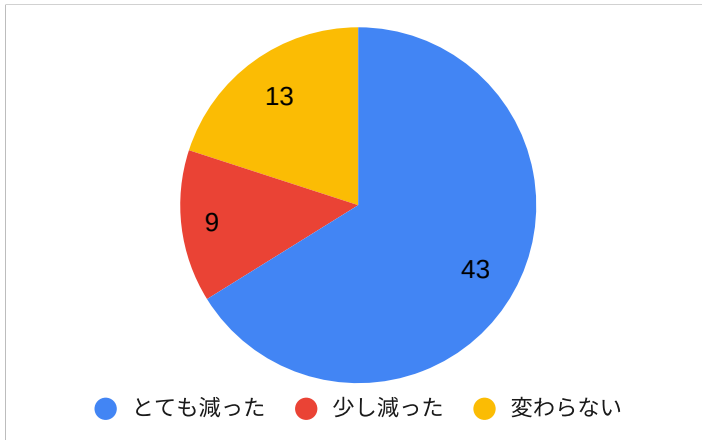
#### (5)その他

##### 活動の拡充：

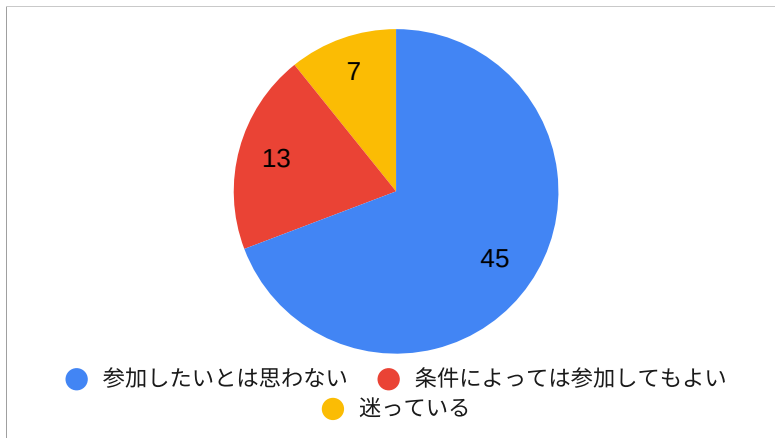
平日の「まいかつ」活動も実践してみたい

8. 「まいかつ」体験に指導者として参加しなかった方対象の質問

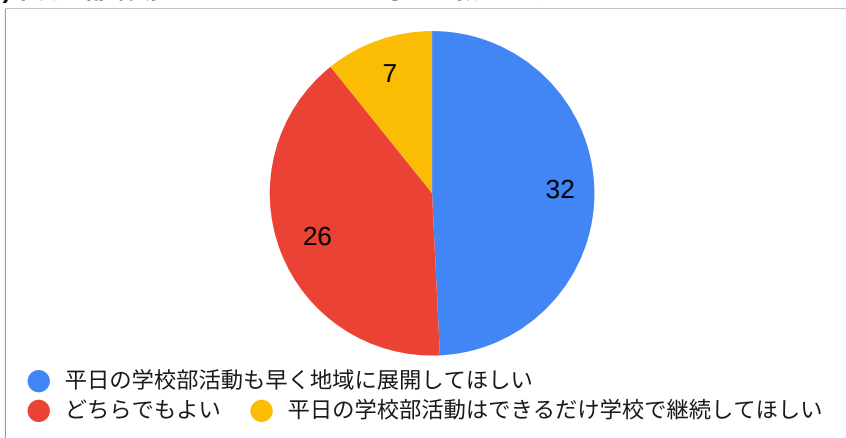
8.(1) 土日の部活動がなくなったことにより、負担感は減りましたか



8.(2) 来年度の「まいかつ」に指導者として参加する意向はありますか？



8.(3) 平日の部活動について、あなたの考えを教えてください



8.(4) 「まいかつ」に対する要望や質問があれば記入してください

(1) 負担感

肯定的な意見：

休日が自分の時間になり、体力的・精神的に休養できたことを感謝する声多数

課題：

大会前の休日練習を顧問が行う場合、負担軽減の実感が薄い。

教員が「まいかつ」の指導員を兼ねる場合、実質的な負担が変わらない

## **(2)制度・運用体制**

### **実施期間と範囲：**

「通年での実施」や「平日も含めた地域展開」を加速させてほしい

### **明確なルール化：**

「部活動を名前だけ変えたもの」にならないよう、学校単位ではない枠組み作りを希望  
中体連の大会参加ルールや他市との連携など、具体的なルールの整備

### **周知とビジョン：**

最終的にどのような形を目指しているのかというビジョンを提示してほしい  
教職員間での情報共有の徹底が必要とされています。

## **(3)指導体制（指導者の質・連携）**

### **指導者の質とガバナンス：**

指導者による暴言やハラスメントを懸念  
市全体でのコーチング研修やアップデートの場が必要

### **連携：**

学校顧問と外部指導者の情報共有、特に未経験の教員が顧問になった際の連携体制の構築

### **指導者の確保：**

指導者の確保自体が難しいのではないか

## **(4)生徒への影響・教育的配慮**

### **機会の平等：**

居住地域や家庭の経済状況に関わらず、すべての生徒が活動を継続できるような支援策

### **生徒の主体性と意欲：**

地域展開により生徒が希望する活動に参加できる

学校と地域クラブの調整の難しさ

平日の部活動に対する意欲低下を懸念

### **教員と生徒の関係：**

休日の活動がなくなることで、教員と生徒の信頼関係構築の機会が減る

休日の部活動存続を望む

## **(5)その他**

### **事務・連絡の効率化：**

保護者とのグループチャット活用や施設借用フローの整備など、事務面での進展を評価

### **文化部特有の課題：**

発表会が土日に集中するため、一律の地域展開では対応しきれないのでは

## **9.学校備品使用における課題があれば教えてください。**

### **○備品の管理体制とマナーに関する意見**

- ・現状復帰の不徹底
- ・ネットの高さ、支柱、リングの上げ下げ、用具の配置が元通りになっておらず、翌朝の授業に支障が出ている。
- ・紛失・破損と責任の所在
- ・備品の紛失、掃除機などの設備破損が発生。誰がいつ壊したか不明な場合があり、管理責任が曖昧。
- ・扱い方の質の差
- ・道具の扱いが雑であることへの懸念。また、学校の備品を自宅へ持ち帰り、登校時に持参するという不安定な運用への不安。

○**消耗品・備品の予算と負担に関する意見**

- ・消耗品の劣化問題
- ・ピン球やボール等の消耗品は授業用（学校予算）を使用しており、活動による劣化・破損の補填がなされていない。
- ・新規導入・修理費の確保
- ・楽器の修理費や、地域クラブ展開に伴う専用道具（バット、ボール、ベース等）の購入・保管場所の確保に多大な費用がかかる。
- ・「まいかつ専用予算」の要望
- ・備品を学校と共用せず、地域クラブ予算で独自に購入・補充すべきである（学校側の負担軽減）。

○**施設環境と活動の公平性に関する意見**

- ・施設コンディションの不良
- ・テニスコートの整備状況が悪すぎて、そもそも活動場所として成立していない。
- ・備品数の不足
- ・学校にある備品自体が少なく、活動が制限されている。
- ・ユニフォームを貸与されるチームと自費購入のチームがあるなど、受益者負担の観点での不公平感。